平成２９年度

伴走型小規模事業者支援推進事業

第２回

経営動向調査 報告書

（平成３０年１月調査）

上天草市商工会

目　　次

Ⅰ　調査の概要 …… 1

Ⅱ　調査結果の概要及び考察 …… 2

Ⅲ　調査集計結果 …… 15

Ⅳ　調査票 …… 25

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

この調査は、上天草市商工会（以後「当商工会」という。）の会員事業所に対し、平成３０年１月時点で、本年度第三四半期（２９年１０月～１２月）の経営状況ついて調査し、その結果を分析することにより、会員事業所の事業運営に役立てることを目的として行った。

２　調査対象者

当商工会の会員事業所のうち小規模事業者。（製造・建設業　従業員２０名以下、卸売・小売・サービス業　従業員５名以下）

３　調査実施時期

平成３０年１月１日　～　平成３０年１月３１日

４　調査方法

予め作成した調査票を会員事業所に配布し、回収する方法とした。

５　回答数

５２事業所からの回答を得た。

６　調査票の集計

調査票の回収は当商工会で行い、集計及び分析は㈲ビジネス・アシストに委託して行った。

Ⅱ　調査結果の概要及び考察

１　業種別回答事業所数

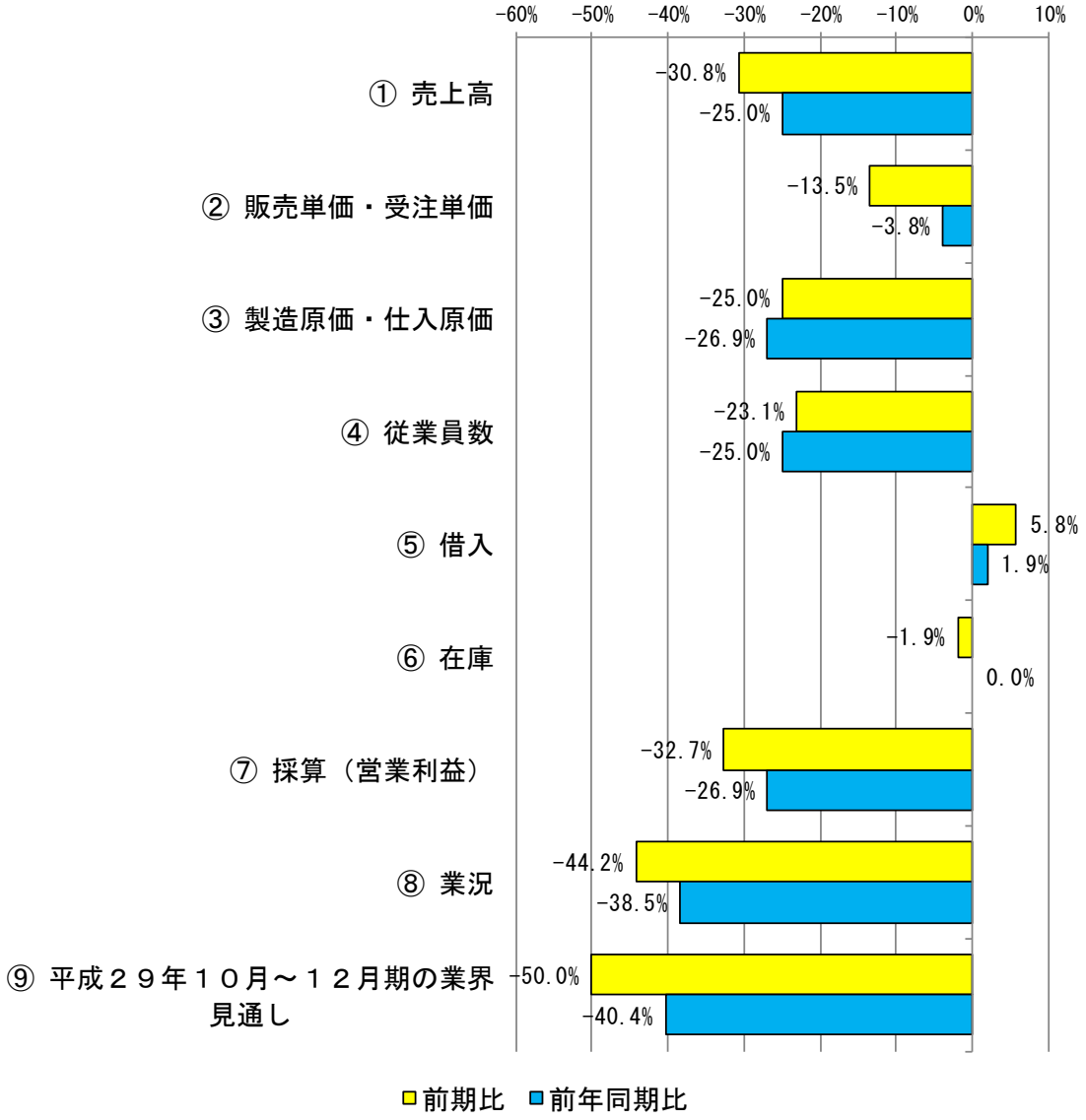
・回答を得た会員事業所の業種別数は、つぎのとおりであった。

業種	回答事業所数
宿泊業	２
製造業	１０
建設業	４
小売業	２１
サービス業	７
運輸業・輸送業	４
卸売業	１
水産業	２
不動産業	１
計	５２

・なお、以下の分析においては、宿泊業、建設業、運輸業・運送業、卸売業、水産業、不動産業は回答事業所数が少ないので、データとしての信頼性は低いことに留意頂きたい。

２　回答事業所全体の経営動向ＤＩ

⑴　本年度調査の結果



※前期比＝本年７月～９月との比較。
※前年同期比＝昨年の１０月～１２月との比較。
※ＤＩ（景気動向指数）＝増加・好転などの割合－減少・悪化などの割合

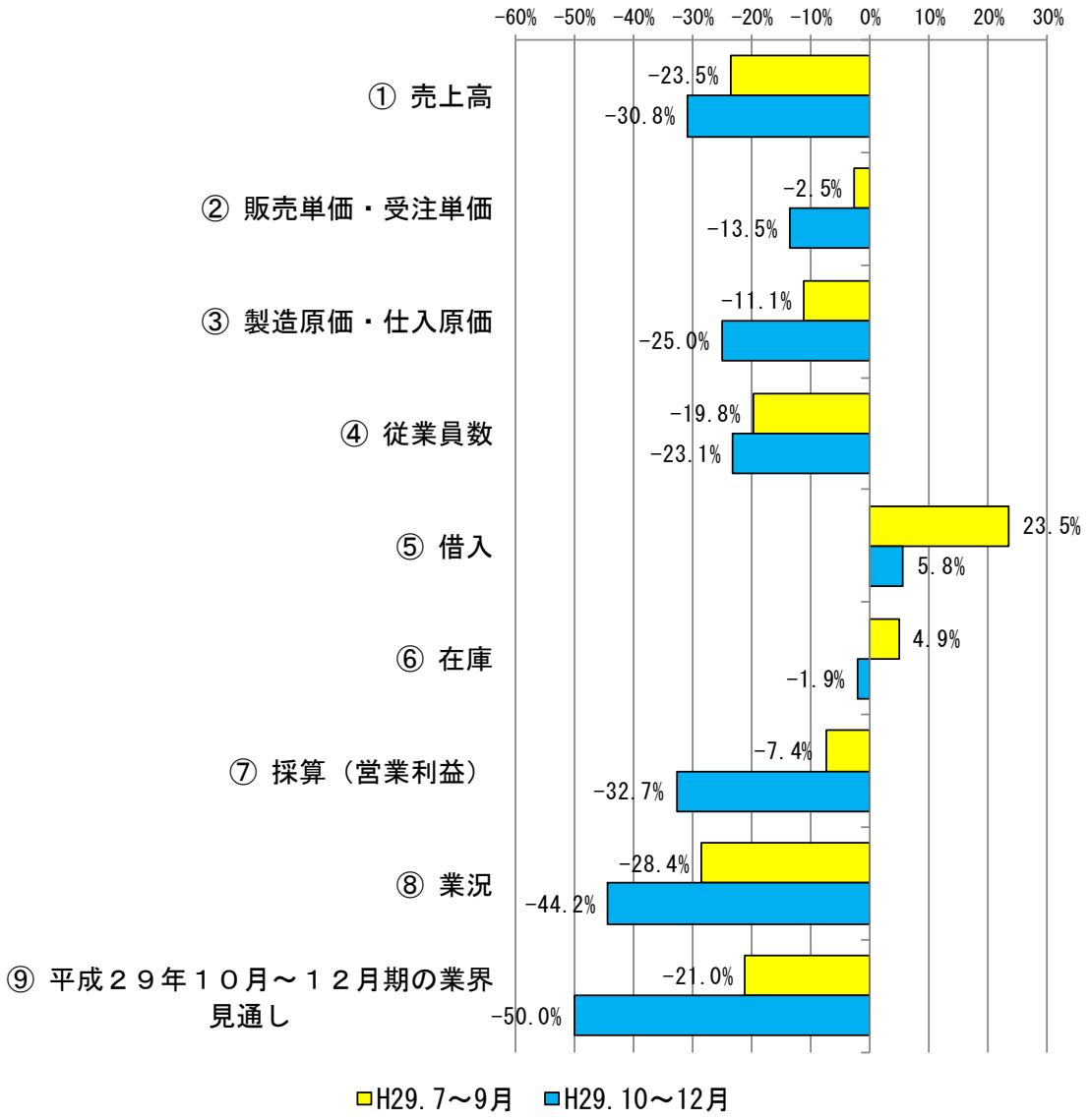
・回答事業所全体の結果は、上記グラフのとおりであるが、全体の傾向は次のとおりである。

① 売上高については、前期比及び前年同期比で減少したとする事業所が増加したとする事業所を上回った。
② 販売単価・受注単価は、若干下落した。
③ 製造原価・仕入原価については、下落したとする事業所が増加した。
④ 従業員数については、引き続き不足気味である。
⑤ 借入については、容易な状況から普通の状況になってきた。
⑥ 在庫量については、ほぼ平年並みである。
⑦ 採算性については、悪化する傾向にある。
⑧ 業界の景気状況については、前期比及び前年同期比ともにかなり悪化下とする事業所

が増加した。

⑩　同様に、第三四半期の業界見通しは、悪化するとする事業所が好転するとする事業所を上回り、景気回復が停滞している様子が窺われる。

⑵　第二四半期（本年７月～９月）調査との比較（前期比）



・本年の第二四半期（平成２９年７～９月）と第三四半期（平成２９年１０月～１２月）を前期比で比較してみると、特徴的なのは次のとおりである。

①　売上高が減少したとする事業所が、第二四半期より増加した。

②　第二四半期と比較して、販売単価・受注単価は下落し、逆に製造原価・仕入原価が上昇したという事業所が増加した。

③　従業員数については、以前として不足感が強い。

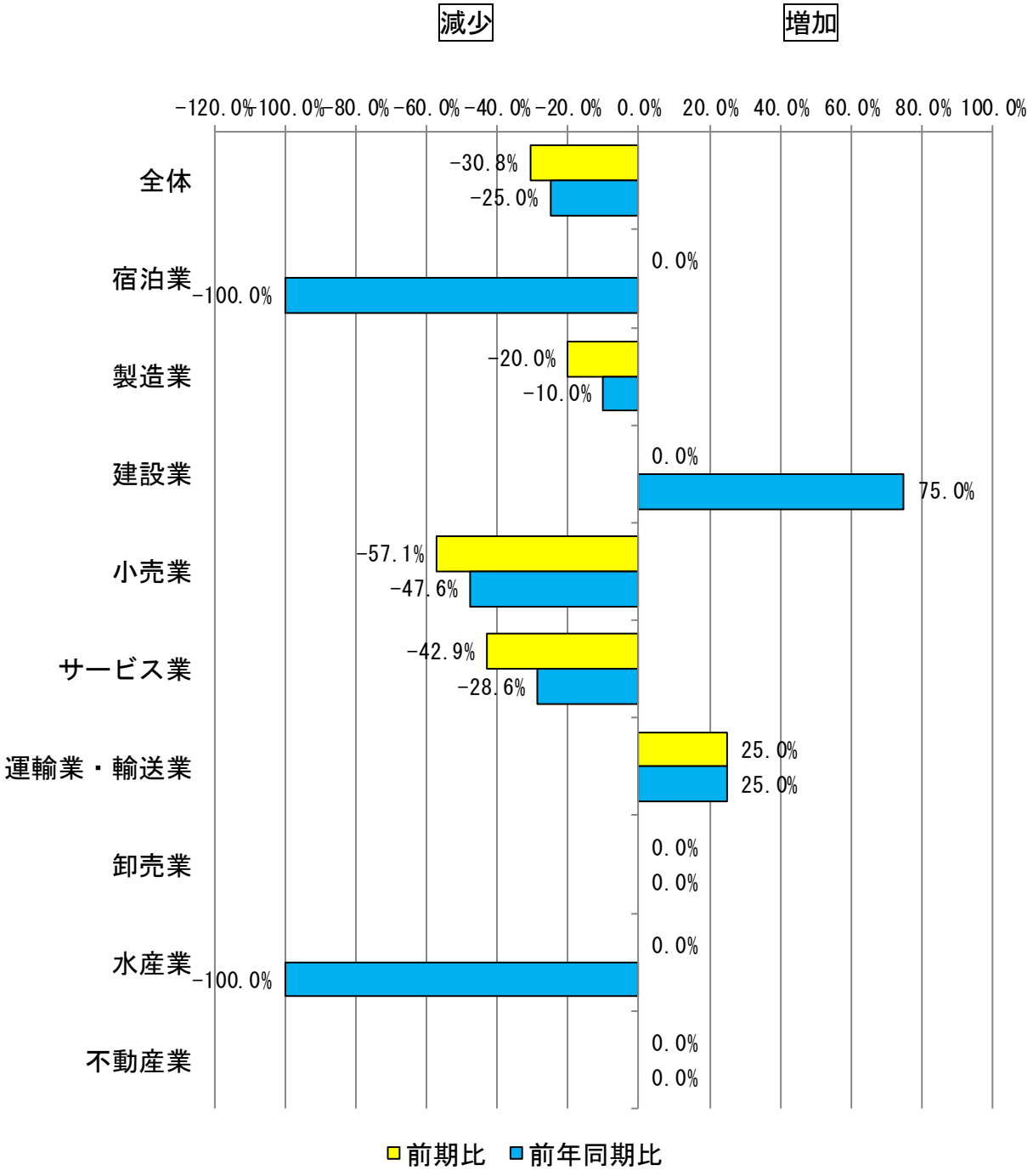
④　借り入れについては、容易とする事業所が減少した。

⑤　在庫については、概ね過不足のない状況である。

⑥　採算（営業利益）が悪化したと回答した事業所が、第二四半期より大幅に増加した。

⑦　業況及び第三四半期の見通しについては、悪化するとする事業所が、第二四半期より大幅に増加し、景気が後退気味である様子が窺われる。

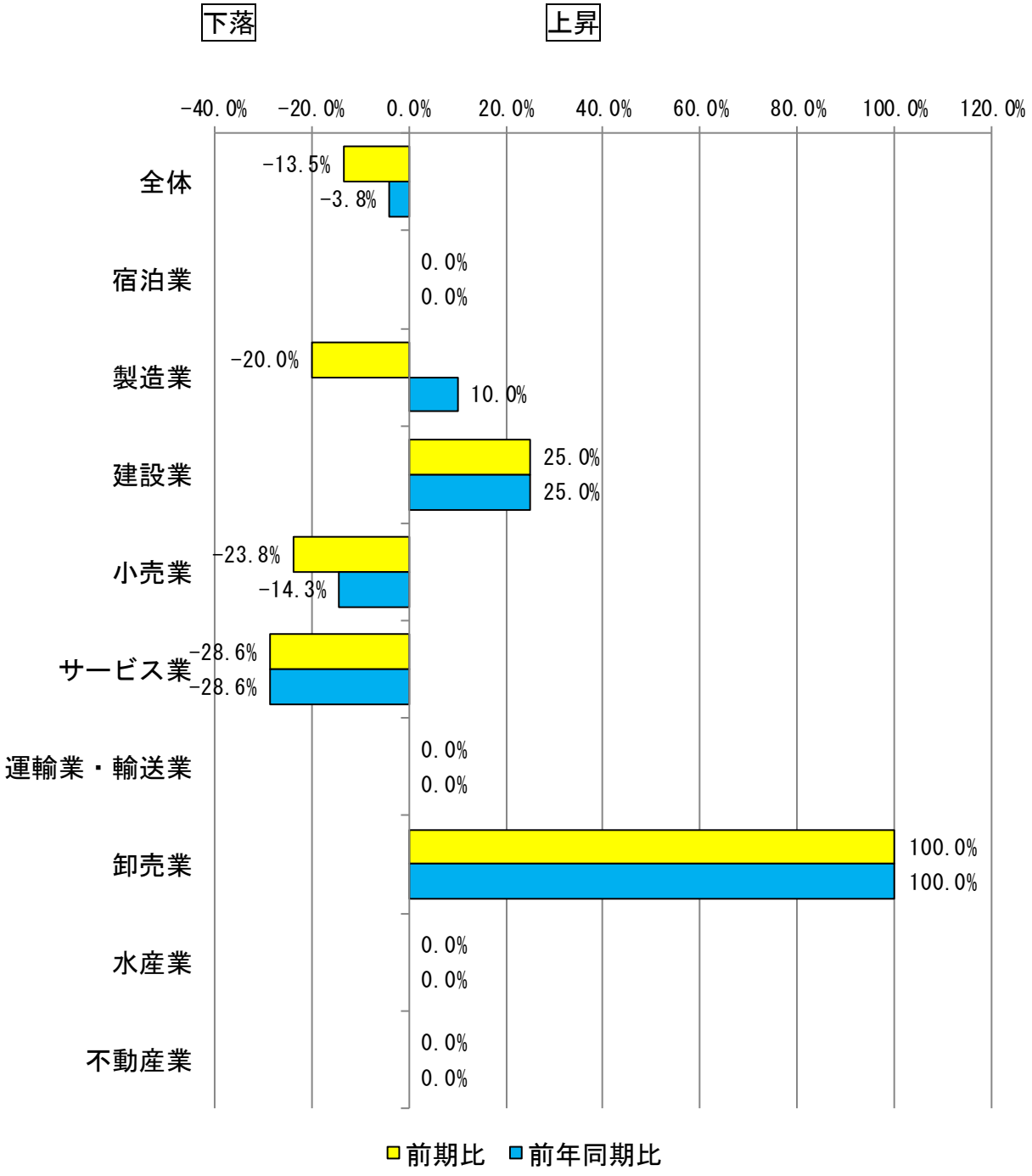
３　売上高の増減ＤＩ



・売上げが増加したと回答した事業所が減少したと回答した事業所を上回った業種は、建設業及び運輸業・輸送業の２業種のみであった。
なお、建設業については、前年同期比で増加したとする事業所が大多数を占め、売上が好調は状況が続いていることが窺われる。

・逆に、売上げが減少したと回答した事業所の割合が多い業種は、宿泊業、小売業、サービス業、水産業であった。
特に宿泊業においては、すべての事業所が前年同期比より減少したと回答した。

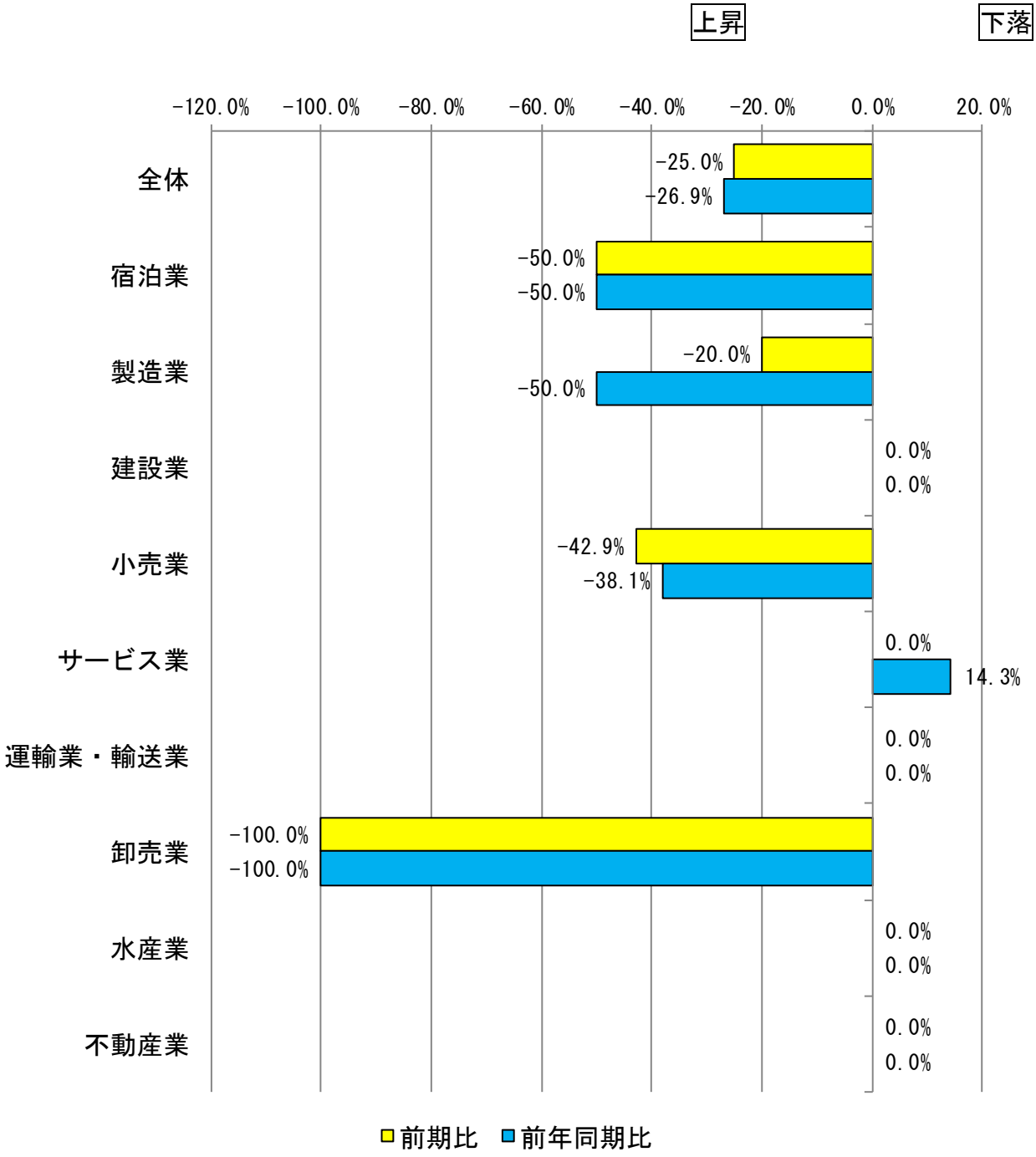
４　販売単価・受注単価の上下ＤＩ



・販売単価・受注単価が上昇したと回答した事業所が下落したと回答した事業所を上回った業種は、建設業、卸売業及び製造業の前年同期比であった。

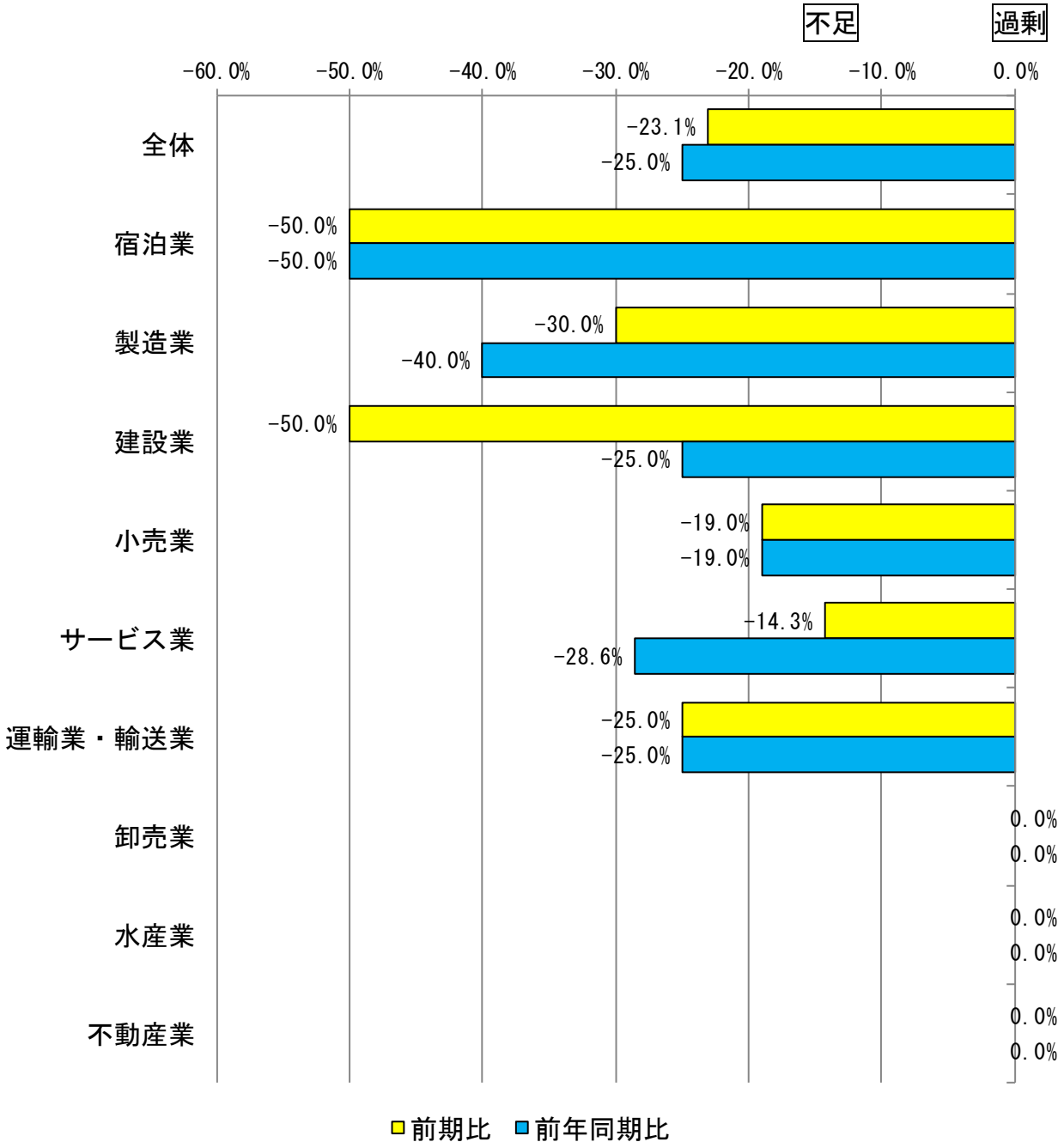
・逆に、販売単価・受注単価が下落したと回答した事業所が上昇したと回答した事業所を回った業種は、小売業、サービス業であった。
小売業及びサービス業で下落の傾向があることは、消費者の低価格志向が根強いためと思われる。

５　製造原価・仕入原価の上下ＤＩ



・製造原価・仕入原価が下落したと回答した事業所が上昇したと回答した事業所より上回った業種は、サービス業のみであった。
・逆に製造原価・仕入原価が上昇したと回答した事業所の割合が高い業種は、宿泊業、製造業、小売業及び卸売業であった。

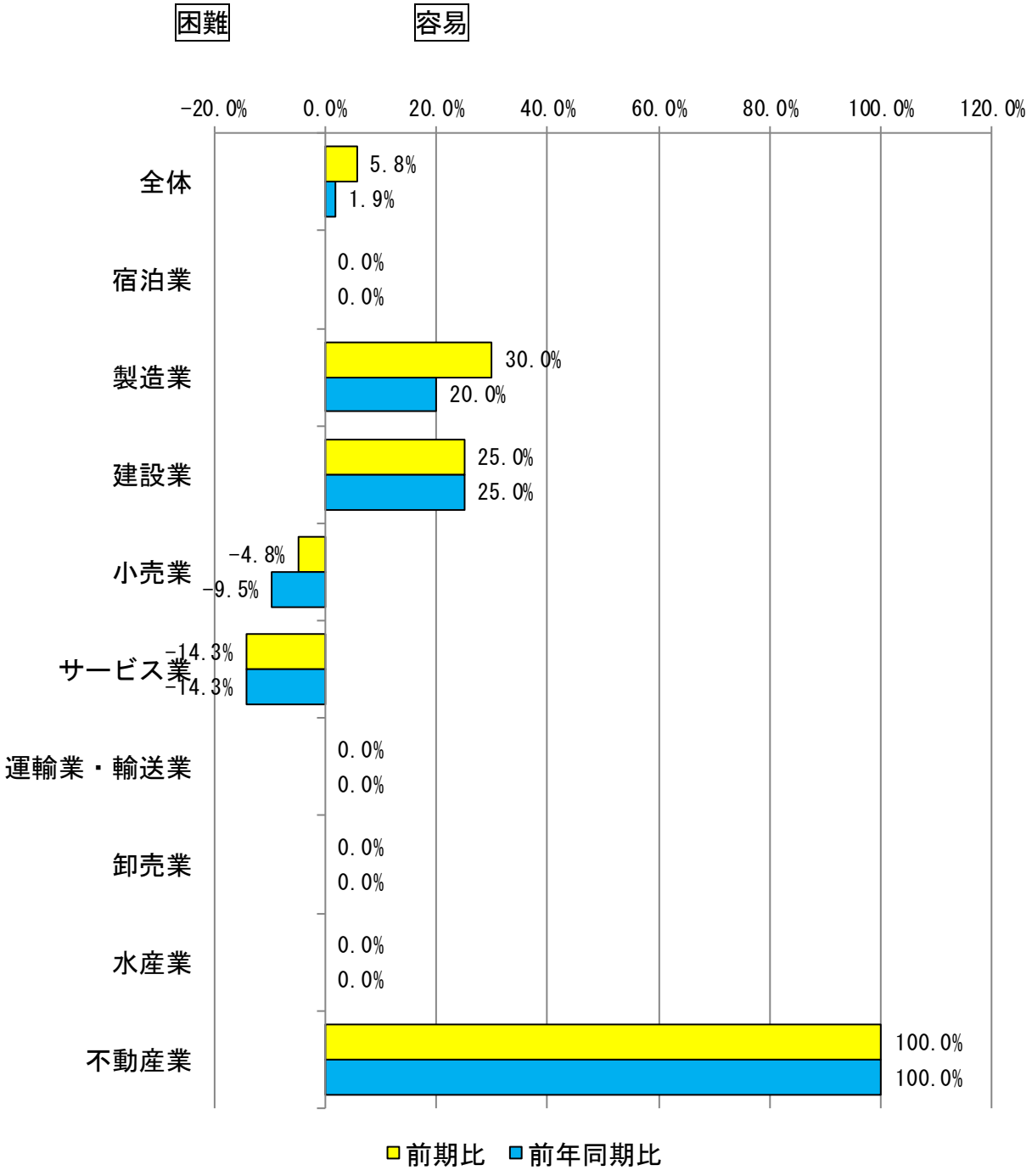
６　従業員の過不足ＤＩ



・従業員数が不足していると回答した事業所が過剰であると回答した事業所を上回った業種は、卸売業、水産業及び不動産業を除く業種で、特に人手不足と思われるのは、宿泊業、製造業及び建設業であった。

・前年度調査や第二四半期との比較をみると、人手不足も若干落ち着いてきたかに見て取れるが、業種によっては人手不足感は依然として強いものと思われる。

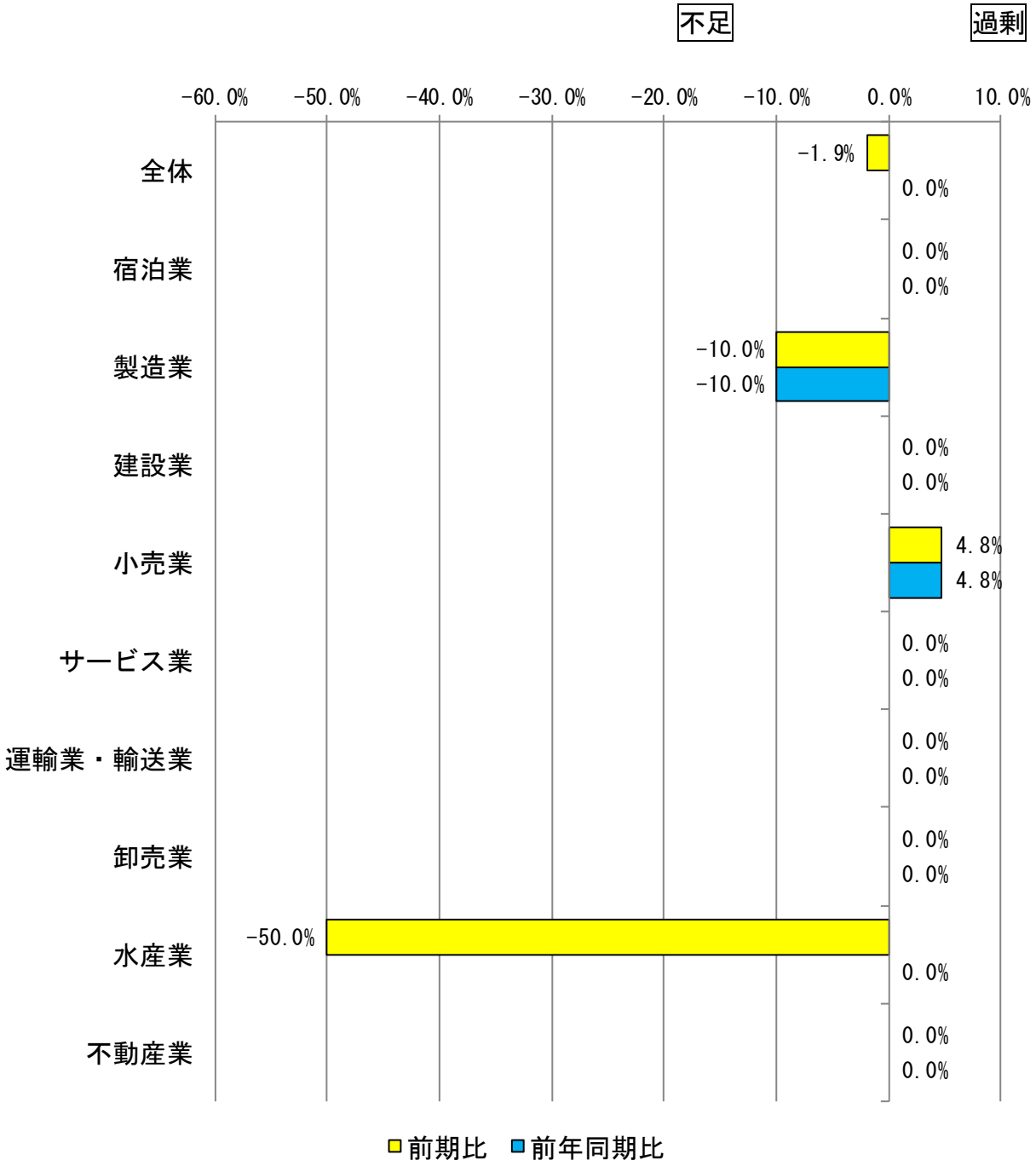
7　借入の難易度ＤＩ



・借入が容易と回答した事業所が困難と回答した事業所を上回った業種は、製造業、建設業及び不動産業であった。

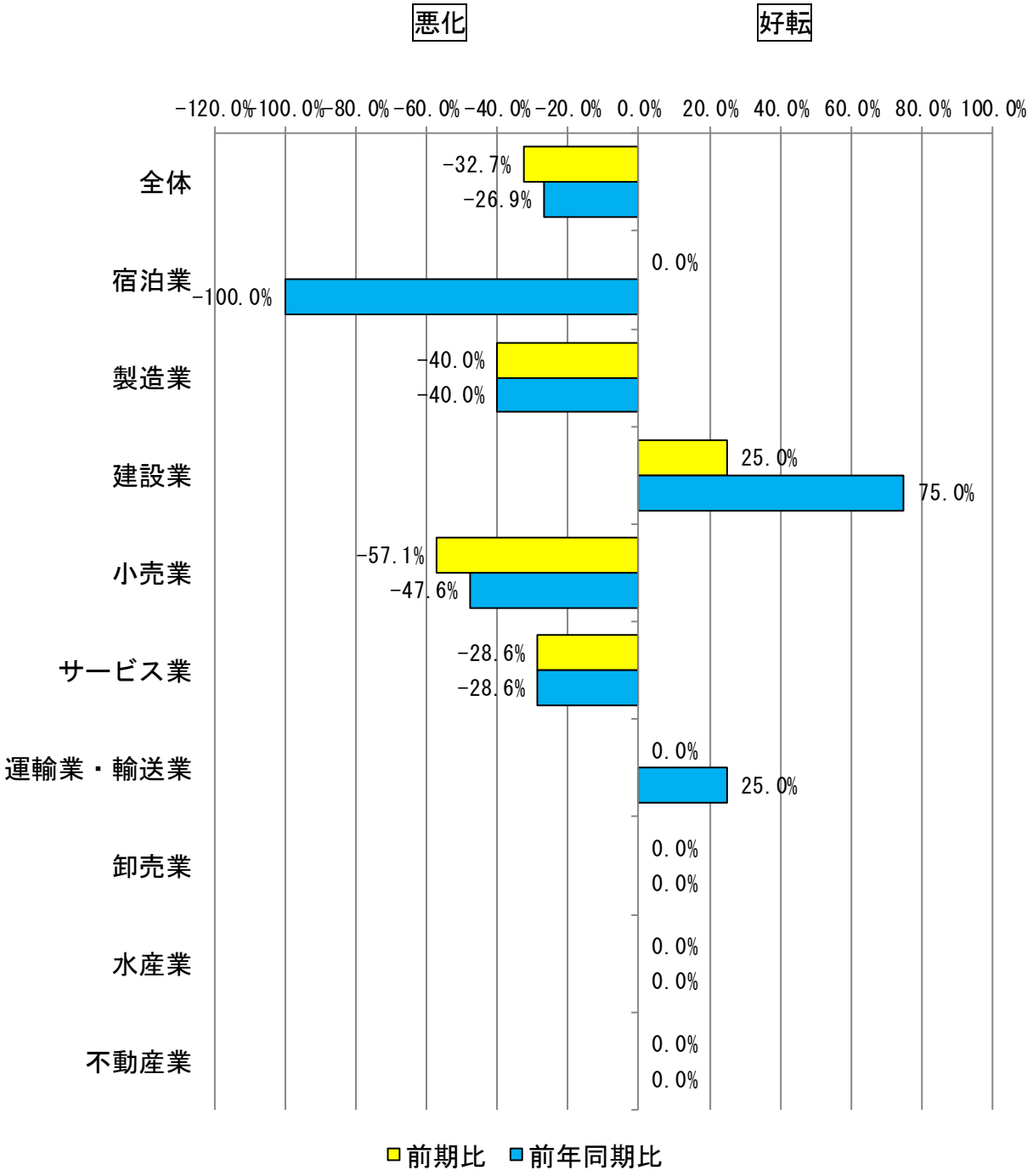
・小売業やサービス業では、借り入れが困難と回答する事業所が若干あるものの、依然として借り入れが容易な状況は続いているものと思われる。

８　在庫量の過不足ＤＩ



・在庫量が不足していると回答した事業所が過剰であると回答した事業所を上回った業種は、製造業及び水産業であったが、全般的にみて、在庫量は概ね概ね適正な水準にあると思われる。

９　採算（営業利益）ＤＩ

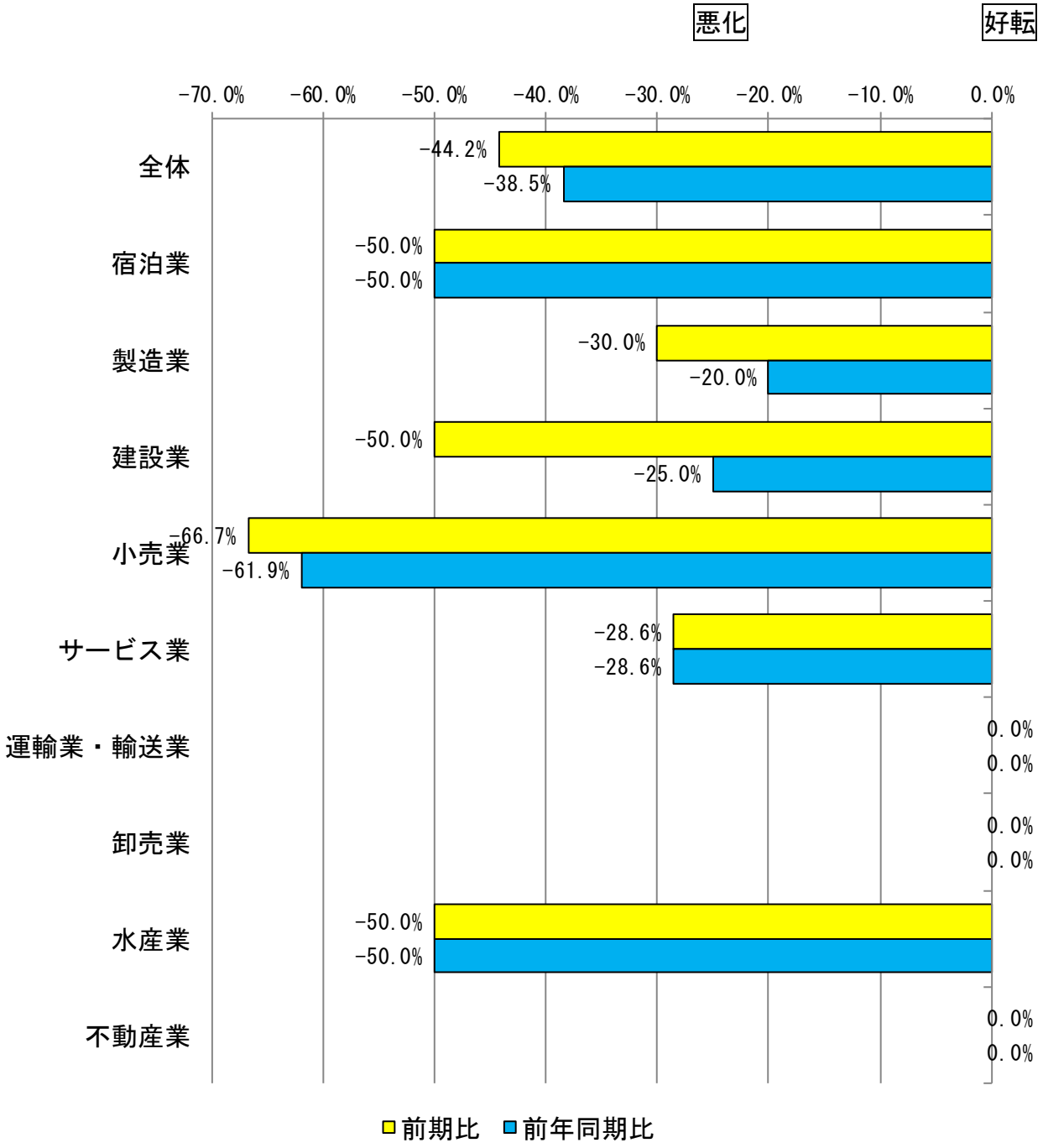


・採算（営業利益）について、好転したと回答した事業所が悪化したと回答した事業所を上回った業種は建設業及び運輸業・輸送業で、「３　売上高の増減ＤＩ」と同じ結果となった。

・逆に、悪化したと回答した事業所が好転したと回答した事業所を上回った業種は、宿泊業、製造業、小売業及びサービス業で、特に宿泊業は全事業所が前年同期比で悪化したと回答した。

宿泊業については、「ふっこう割」需要後の需要回復が遅れていることが窺われる。

10　業況ＤＩ

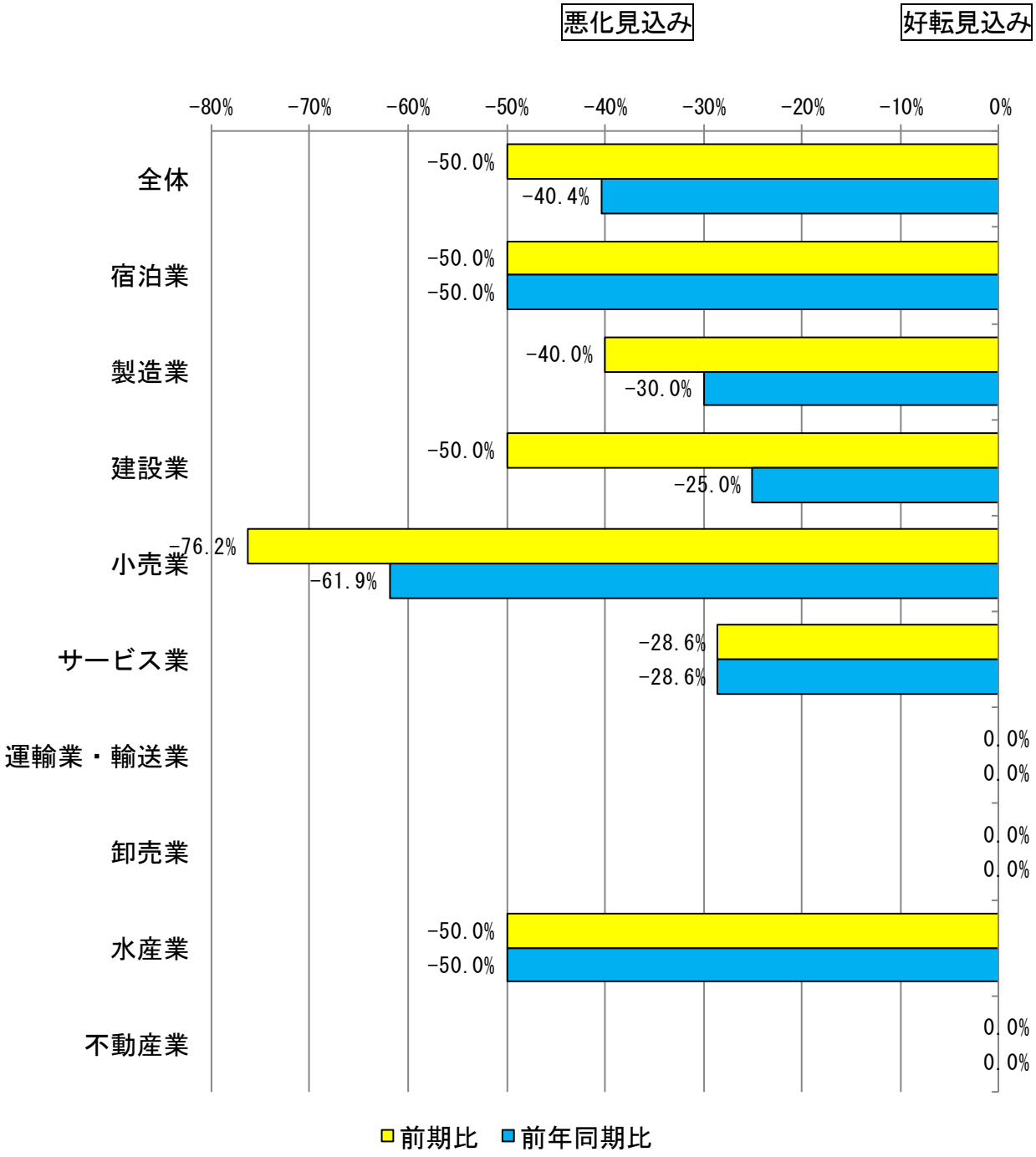


・業況（業界見通し）について、好転したと回答した事業所が悪化したと回答した事業所を上回った業種はなく、全業種で悪化したと回答した事業所が好転したと回答した事業所を上回った。

・特に、悪化したとする事業所が多い業種は、宿泊業、小売業及び水産業で、これらの業種においては、需要回復が遅れていると状況が窺われる。

・なお、建設業についても、前期比で悪化したとする事業が増加しているが、前年度調査と比較しても建設業の業況ＤＩは悪化しつつあり、復興需要に一服感があるものと思われる。

11　平成２９年１０月～１２月の業界見通し度ＤＩ



・第三四半期（平成２９年１０月～１２月）の見通しについて、好転見込みと回答した事業所が悪化見込みと回答した事業所を上回った業種なく、運輸業・輸送業、卸売業及ぶ不動産業を除く全業種で、悪化見込みとする事業所好転見込みとする事業所を上回った。

・特に、悪化見込みとする事業所が多い業種は、宿泊業、製造業、建設業、小売業及び水産業で、前述の「10　業況」と重なる結果あった。

12　現在の経営上の主な課題（複数回答）

	需要回復の遅れ	消費者の低価格志向	受注・販売・価格競争の激化	受注・販売単価の低下	商品、原材料仕入価格の上昇	人手不足	人件費の高騰	設備・施設の老朽化・不足	資金の不足	事業承継
全体	22.2%	29.6%	18.5%	12.3%	21.0%	21.0%	9.9%	32.1%	6.2%	24.7%
宿泊業	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%
製造業	30.0%	40.0%	20.0%	30.0%	50.0%	50.0%	20.0%	60.0%	10.0%	40.0%
建設業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	50.0%
小売業	38.1%	71.4%	42.9%	23.8%	42.9%	23.8%	14.3%	47.6%	14.3%	38.1%
サービス業	14.3%	57.1%	28.6%	14.3%	28.6%	28.6%	0.0%	57.1%	0.0%	42.9%
運輸業・輸送業	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
卸売業	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
水産業	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
不動産業	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

回答率が５０％を超えている項目

・現在の経営課題については、全体でみると、第１位は「設備・施設の老朽化・不足」で３２．１％、第２位は「消費者の低価格志向」で２９．６％、第３位は「需要回復の遅れ」で２２．２％、第４位が「商品、原材料仕入価格の上昇」及び「人手不足」で２１．０％、であった。

・第１位の「設備・施設の老朽化・不足」については、宿泊業、製造業、建設業、サービス業、水産業及び不動産業で経営課題としてあがっている。

・第２位は「消費者の低価格志向」については、小売業、サービス業及び水産業で経営課題としてあがっている。

・第３位の「需要回復の遅れ」については、宿泊業、運輸業・輸送業、卸売業及び水産業で経営課題としてあがっている。

・なお、今回調査で初めて「事業承継」について尋ねたが、製造業、建設業、小売業、サービス業、運輸業・輸送業及び不動産業で比較的高い数値をしめしており、商工会としてこの支援も重要であると思われる。

以上

Ⅲ　調査集計結果

1　全体

回答数	52

※ 前期比＝本年７月～９月との比較。
※ 前年同期比＝昨年の10月～12月との比較。
※ ＤＩ（景気動向指数）＝増加・好転などの割合－減少・悪化などの割合

① 売上高

	増加	変わらない	減少	不明	ＤＩ
前期比	7	22	23	0	-30.8%
前年同期比	8	23	21	0	-25.0%

② 販売（受注）単価

	上昇	変わらない	下降	不明	ＤＩ
前期比	5	32	12	3	-13.5%
前年同期比	8	31	10	3	-3.8%

③ 製造原価・仕入原価

	下降	変わらない	上昇	不明	ＤＩ
前期比	2	28	15	7	-25.0%
前年同期比	3	25	17	7	-26.9%

④ 従業員数

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ
前期比	0	38	12	2	-23.1%
前年同期比	0	37	13	2	-25.0%

⑤ 借入

	容易	不変	困難	不明	ＤＩ
前期比	9	35	6	2	5.8%
前年同期比	8	35	7	2	1.9%

⑥ 在庫

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ
前期比	2	39	3	8	-1.9%
前年同期比	3	37	3	9	0.0%

⑦ 採算（営業利益）

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ
前期比	3	28	20	1	-32.7%
前年同期比	6	25	20	1	-26.9%

⑧ 業況

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ
前期比	0	23	23	6	-44.2%
前年同期比	2	22	22	6	-38.5%

⑨ 第３四半期（平成２９年１０月～１２月）の業界見通しについて

	好転見込み	変わらない	悪化見込み	不明	ＤＩ
前期比	0	23	26	3	-50.0%
前年同期比	4	20	25	3	-40.4%

⑩ 現在の経営上の主な課題

項目	需要回復の遅れ	消費者の低価格志向	受注・販売・価格競争の激化	受注・販売単価の低下	商品、原材料仕入価格の上昇
回答数	18	24	15	10	17
構成比	22.2%	29.6%	18.5%	12.3%	21.0%

人手不足	人件費の高騰	設備・施設の老朽化・不足	資金の不足	事業承継
17	8	26	5	20
21.0%	9.9%	32.1%	6.2%	24.7%

2　宿泊業

回答数	2
全体	52

※ 前期比＝本年７月～９月との比較。
※ 前年同期比＝昨年の10月～12月との比較。
※ ＤＩ（景気動向指数）＝増加・好転などの割合－減少・悪化などの割合

① 売上高

	増加	変わらない	減少	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	1	0	1	0	0.0%	-30.8%
前年同期比	0	0	2	0	-100.0%	-25.0%

② 販売（受注）単価

	上昇	変わらない	下降	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	2	0	0	0.0%	-2.5%
前年同期比	0	2	0	0	0.0%	2.5%

③ 製造原価・仕入原価

	下降	変わらない	上昇	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	0	1	1	-50.0%	-11.1%
前年同期比	0	0	1	1	-50.0%	-14.8%

④ 従業員数

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	1	0	-50.0%	-19.8%
前年同期比	0	1	1	0	-50.0%	-21.0%

⑤ 借入

	容易	不変	困難	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	2	0	0	0.0%	23.5%
前年同期比	0	2	0	0	0.0%	23.5%

⑥ 在庫

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	2	0	0	0.0%	4.9%
前年同期比	0	2	0	0	0.0%	3.7%

⑦ 採算（営業利益）

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	1	0	1	0	0.0%	-7.4%
前年同期比	0	0	2	0	-100.0%	-12.3%

⑧ 業況

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	0	1	1	-50.0%	-28.4%
前年同期比	0	0	1	1	-50.0%	-32.1%

⑨ 第３四半期（平成２９年１０月～１２月）の業界見通しについて

	好転見込み	変わらない	悪化見込み	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	0	1	1	-50.0%	-21.0%
前年同期比	0	0	1	1	-50.0%	-19.8%

⑩ 現在の経営上の主な課題

項目	需要回復の遅れ	消費者の低価格志向	受注・販売・価格競争の激化	受注・販売単価の低下	商品、原材料仕入価格の上昇
回答数	1	0	0	0	0
構成比	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

人手不足	人件費の高騰	設備・施設の老朽化・不足	資金の不足	ＩＴ化の進展について行けない
1	0	2	1	0
50.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%

3　製造業

回答数	10
全体	52

※ 前期比＝本年７月～９月との比較。
※ 前年同期比＝昨年の10月～12月との比較。
※ ＤＩ（景気動向指数）＝増加・好転などの割合－減少・悪化などの割合

① 売上高

	増加	変わらない	減少	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	2	4	4	0	-20.0%	-23.5%
前年同期比	2	5	3	0	-10.0%	-21.0%

② 販売（受注）単価

	上昇	変わらない	下降	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	8	2	0	-20.0%	-2.5%
前年同期比	2	7	1	0	10.0%	2.5%

③ 製造原価・仕入原価

	下降	変わらない	上昇	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	8	2	0	-20.0%	-11.1%
前年同期比	0	5	5	0	-50.0%	-14.8%

④ 従業員数

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	7	3	0	-30.0%	-19.8%
前年同期比	0	6	4	0	-40.0%	-21.0%

⑤ 借入

	容易	不変	困難	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	4	5	1	0	30.0%	23.5%
前年同期比	3	6	1	0	20.0%	23.5%

⑥ 在庫

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	8	1	1	-10.0%	4.9%
前年同期比	0	8	1	1	-10.0%	3.7%

⑦ 採算（営業利益）

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	5	4	1	-40.0%	-7.4%
前年同期比	0	5	4	1	-40.0%	-12.3%

⑧ 業況

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	5	3	2	-30.0%	-28.4%
前年同期比	2	2	4	2	-20.0%	-32.1%

⑨ 第３四半期（平成２９年１０月～１２月）の業界見通しについて

	好転見込み	変わらない	悪化見込み	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	5	4	1	-40.0%	-21.0%
前年同期比	2	2	5	1	-30.0%	-19.8%

⑩ 現在の経営上の主な課題

項目	需要回復の遅れ	消費者の低価格志向	受注・販売・価格競争の激化	受注・販売単価の低下	商品、原材料仕入価格の上昇
回答数	3	4	2	3	5
構成比	30.0%	40.0%	20.0%	30.0%	50.0%

人手不足	人件費の高騰	設備・施設の老朽化・不足	資金の不足	事業承継
5	2	6	1	4
50.0%	20.0%	60.0%	10.0%	40.0%

4　建設業

回答数	4
全体	52

※ 前期比＝本年７月～９月との比較。
※ 前年同期比＝昨年の10月～12月との比較。
※ ＤＩ（景気動向指数）＝増加・好転などの割合－減少・悪化などの割合

① 売上高

	増加	変わらない	減少	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	1	2	1	0	0.0%	-23.5%
前年同期比	3	1	0	0	75.0%	-21.0%

② 販売（受注）単価

	上昇	変わらない	下降	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	1	3	0	0	25.0%	-2.5%
前年同期比	1	3	0	0	25.0%	2.5%

③ 製造原価・仕入原価

	下降	変わらない	上昇	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	4	0	0	0.0%	-11.1%
前年同期比	0	4	0	0	0.0%	-14.8%

④ 従業員数

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	2	2	0	-50.0%	-19.8%
前年同期比	0	3	1	0	-25.0%	-21.0%

⑤ 借入

	容易	不変	困難	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	1	3	0	0	25.0%	23.5%
前年同期比	1	3	0	0	25.0%	23.5%

⑥ 在庫

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	3	0	1	0.0%	4.9%
前年同期比	0	3	0	1	0.0%	3.7%

⑦ 採算（営業利益）

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	1	3	0	0	25.0%	-7.4%
前年同期比	3	1	0	0	75.0%	-12.3%

⑧ 業況

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	2	1	-50.0%	-28.4%
前年同期比	0	2	1	1	-25.0%	-32.1%

⑨ 第３四半期（平成２９年１０月～１２月）の業界見通しについて

	好転見込み	変わらない	悪化見込み	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	2	2	0	-50.0%	-21.0%
前年同期比	1	1	2	0	-25.0%	-19.8%

⑩ 現在の経営上の主な課題

項目	需要回復の遅れ	消費者の低価格志向	受注・販売・価格競争の激化	受注・販売単価の低下	商品、原材料仕入価格の上昇
回答数	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

人手不足	人件費の高騰	設備・施設の老朽化・不足	資金の不足	事業承継
1	1	2	0	2
25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	50.0%

5　小売業

回答数	21
全体	52

※ 前期比＝本年７月～９月との比較。
※ 前年同期比＝昨年の10月～12月との比較。
※ ＤＩ（景気動向指数）＝増加・好転などの割合－減少・悪化などの割合

① 売上高

	増加	変わらない	減少	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	1	7	13	0	-57.1%	-23.5%
前年同期比	2	7	12	0	-47.6%	-21.0%

② 販売（受注）単価

	上昇	変わらない	下降	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	2	11	7	1	-23.8%	-2.5%
前年同期比	3	11	6	1	-14.3%	2.5%

③ 製造原価・仕入原価

	下降	変わらない	上昇	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	12	9	0	-42.9%	-11.1%
前年同期比	0	13	8	0	-38.1%	-14.8%

④ 従業員数

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	15	4	2	-19.0%	-19.8%
前年同期比	0	15	4	2	-19.0%	-21.0%

⑤ 借入

	容易	不変	困難	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	3	13	4	1	-4.8%	23.5%
前年同期比	3	12	5	1	-9.5%	23.5%

⑥ 在庫

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	2	17	1	1	4.8%	4.9%
前年同期比	2	16	1	2	4.8%	3.7%

⑦ 採算（営業利益）

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	9	12	0	-57.1%	-7.4%
前年同期比	1	9	11	0	-47.6%	-12.3%

⑧ 業況

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	6	14	1	-66.7%	-28.4%
前年同期比	0	7	13	1	-61.9%	-32.1%

⑨ 第３四半期（平成２９年１０月～１２月）の業界見通しについて

	好転見込み	変わらない	悪化見込み	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	5	16	0	-76.2%	-21.0%
前年同期比	1	6	14	0	-61.9%	-19.8%

⑩ 現在の経営上の主な課題

項目	需要回復の遅れ	消費者の低価格志向	受注・販売・価格競争の激化	受注・販売単価の低下	商品、原材料仕入価格の上昇
回答数	8	15	9	5	9
構成比	38.1%	71.4%	42.9%	23.8%	42.9%

人手不足	人件費の高騰	設備・施設の老朽化・不足	資金の不足	事業承継
5	3	10	3	8
23.8%	14.3%	47.6%	14.3%	38.1%

6 サービス業

回答数	7
全体	52

※ 前期比＝本年７月～９月との比較。
※ 前年同期比＝昨年の10月～12月との比較。
※ ＤＩ（景気動向指数）＝増加・好転などの割合－減少・悪化などの割合

① 売上高

	増加	変わらない	減少	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	4	3	0	-42.9%	-23.5%
前年同期比	0	5	2	0	-28.6%	-21.0%

② 販売（受注）単価

	上昇	変わらない	下降	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	5	2	0	-28.6%	-2.5%
前年同期比	0	5	2	0	-28.6%	2.5%

③ 製造原価・仕入原価

	下降	変わらない	上昇	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	1	2	1	3	0.0%	-11.1%
前年同期比	2	1	1	3	14.3%	-14.8%

④ 従業員数

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	6	1	0	-14.3%	-19.8%
前年同期比	0	5	2	0	-28.6%	-21.0%

⑤ 借入

	容易	不変	困難	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	5	1	1	-14.3%	23.5%
前年同期比	0	5	1	1	-14.3%	23.5%

⑥ 在庫

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	6	0	1	0.0%	4.9%
前年同期比	0	6	0	1	0.0%	3.7%

⑦ 採算（営業利益）

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	5	2	0	-28.6%	-7.4%
前年同期比	0	5	2	0	-28.6%	-12.3%

⑧ 業況

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	4	2	1	-28.6%	-28.4%
前年同期比	0	4	2	1	-28.6%	-32.1%

⑨ 第３四半期（平成２９年１０月～１２月）の業界見通しについて

	好転見込み	変わらない	悪化見込み	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	4	2	1	-28.6%	-21.0%
前年同期比	0	4	2	1	-28.6%	-19.8%

⑩ 現在の経営上の主な課題

項目	需要回復の遅れ	消費者の低価格志向	受注・販売・価格競争の激化	受注・販売単価の低下	商品、原材料仕入価格の上昇
回答数	1	4	2	1	2
構成比	14.3%	57.1%	28.6%	14.3%	28.6%

人手不足	人件費の高騰	設備・施設の老朽化・不足	資金の不足	事業承継
2	0	4	0	3
28.6%	0.0%	57.1%	0.0%	42.9%

7　運輸業・輸送業

回答数	4
全体	52

※ 前期比＝本年７月～９月との比較。
※ 前年同期比＝昨年の10月～12月との比較。
※ ＤＩ（景気動向指数）＝増加・好転などの割合－減少・悪化などの割合

① 売上高

	増加	変わらない	減少	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	1	3	0	0	25.0%	-23.5%
前年同期比	1	3	0	0	25.0%	-21.0%

② 販売（受注）単価

	上昇	変わらない	下降	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	2	0	2	0.0%	-2.5%
前年同期比	0	2	0	2	0.0%	2.5%

③ 製造原価・仕入原価

	下降	変わらない	上昇	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	3	0.0%	-11.1%
前年同期比	0	1	0	3	0.0%	-14.8%

④ 従業員数

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	3	1	0	-25.0%	-19.8%
前年同期比	0	3	1	0	-25.0%	-21.0%

⑤ 借入

	容易	不変	困難	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	4	0	0	0.0%	23.5%
前年同期比	0	4	0	0	0.0%	23.5%

⑥ 在庫

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	0	0	4	0.0%	4.9%
前年同期比	0	0	0	4	0.0%	3.7%

⑦ 採算（営業利益）

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	4	0	0	0.0%	-7.4%
前年同期比	1	3	0	0	25.0%	-12.3%

⑧ 業況

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	4	0	0	0.0%	-28.4%
前年同期比	0	4	0	0	0.0%	-32.1%

⑨ 第３四半期（平成２９年１０月～１２月）の業界見通しについて

	好転見込み	変わらない	悪化見込み	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	4	0	0	0.0%	-21.0%
前年同期比	0	4	0	0	0.0%	-19.8%

⑩ 現在の経営上の主な課題

項目	需要回復の遅れ	消費者の低価格志向	受注・販売・価格競争の激化	受注・販売単価の低下	商品、原材料仕入価格の上昇
回答数	3	0	0	0	0
構成比	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

人手不足	人件費の高騰	設備・施設の老朽化・不足	資金の不足	事業承継
2	2	0	0	2
50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%

8　卸売業

回答数	1
全体	52

※ 前期比＝本年７月～９月との比較。
※ 前年同期比＝昨年の10月～12月との比較。
※ ＤＩ（景気動向指数）＝増加・好転などの割合－減少・悪化などの割合

① 売上高

	増加	変わらない	減少	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	0	0.0%	-23.5%
前年同期比	0	1	0	0	0.0%	-21.0%

② 販売（受注）単価

	上昇	変わらない	下降	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	1	0	0	0	100.0%	-2.5%
前年同期比	1	0	0	0	100.0%	2.5%

③ 製造原価・仕入原価

	下降	変わらない	上昇	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	0	1	0	-100.0%	-11.1%
前年同期比	0	0	1	0	-100.0%	-14.8%

④ 従業員数

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	0	0.0%	-19.8%
前年同期比	0	1	0	0	0.0%	-21.0%

⑤ 借入

	容易	不変	困難	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	0	0.0%	23.5%
前年同期比	0	1	0	0	0.0%	23.5%

⑥ 在庫

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	0	0.0%	4.9%
前年同期比	0	1	0	0	0.0%	3.7%

⑦ 採算（営業利益）

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	0	0.0%	-7.4%
前年同期比	0	1	0	0	0.0%	-12.3%

⑧ 業況

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	0	0.0%	-28.4%
前年同期比	0	1	0	0	0.0%	-32.1%

⑨ 第３四半期（平成２９年１０月～１２月）の業界見通しについて

	好転見込み	変わらない	悪化見込み	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	0	0.0%	-21.0%
前年同期比	0	1	0	0	0.0%	-19.8%

⑩ 現在の経営上の主な課題

項目	需要回復の遅れ	消費者の低価格志向	受注・販売・価格競争の激化	受注・販売単価の低下	商品、原材料仕入価格の上昇
回答数	1	0	1	0	0
構成比	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

人手不足	人件費の高騰	設備・施設の老朽化・不足	資金の不足	事業承継
0	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

9　水産業

回答数	2
全体	52

※ 前期比＝本年７月～９月との比較。
※ 前年同期比＝昨年の10月～12月との比較。
※ ＤＩ（景気動向指数）＝増加・好転などの割合－減少・悪化などの割合

① 売上高

	増加	変わらない	減少	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	1	0	1	0	0.0%	-23.5%
前年同期比	0	0	2	0	-100.0%	-21.0%

② 販売（受注）単価

	上昇	変わらない	下降	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	1	0	1	0	0.0%	-2.5%
前年同期比	1	0	1	0	0.0%	2.5%

③ 製造原価・仕入原価

	下降	変わらない	上昇	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	1	0	1	0	0.0%	-11.1%
前年同期比	1	0	1	0	0.0%	-14.8%

④ 従業員数

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	2	0	0	0.0%	-19.8%
前年同期比	0	2	0	0	0.0%	-21.0%

⑤ 借入

	容易	不変	困難	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	2	0	0	0.0%	23.5%
前年同期比	0	2	0	0	0.0%	23.5%

⑥ 在庫

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	1	0	-50.0%	4.9%
前年同期比	1	0	1	0	0.0%	3.7%

⑦ 採算（営業利益）

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	1	0	1	0	0.0%	-7.4%
前年同期比	1	0	1	0	0.0%	-12.3%

⑧ 業況

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	1	0	-50.0%	-28.4%
前年同期比	0	1	1	0	-50.0%	-32.1%

⑨ 第３四半期（平成２９年１０月～１２月）の業界見通しについて

	好転見込み	変わらない	悪化見込み	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	1	0	-50.0%	-21.0%
前年同期比	0	1	1	0	-50.0%	-19.8%

⑩ 現在の経営上の主な課題

項目	需要回復の遅れ	消費者の低価格志向	受注・販売・価格競争の激化	受注・販売単価の低下	商品、原材料仕入価格の上昇
回答数	1	1	0	1	1
構成比	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%

人手不足	人件費の高騰	設備・施設の老朽化・不足	資金の不足	事業承継
1	0	1	0	0
50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

10 不動産業

回答数	1
全体	52

※ 前期比＝本年７月～９月との比較。
※ 前年同期比＝昨年の10月～12月との比較。
※ ＤＩ（景気動向指数）＝増加・好転などの割合－減少・悪化などの割合

① 売上高

	増加	変わらない	減少	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	0	0.0%	-23.5%
前年同期比	0	1	0	0	0.0%	-21.0%

② 販売（受注）単価

	上昇	変わらない	下降	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	0	0.0%	-2.5%
前年同期比	0	1	0	0	0.0%	2.5%

③ 製造原価・仕入原価

	下降	変わらない	上昇	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	0	0.0%	-11.1%
前年同期比	0	1	0	0	0.0%	-14.8%

④ 従業員数

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	0	0.0%	-19.8%
前年同期比	0	1	0	0	0.0%	-21.0%

⑤ 借入

	容易	不変	困難	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	1	0	0	0	100.0%	23.5%
前年同期比	1	0	0	0	100.0%	23.5%

⑥ 在庫

	過剰	適性	不足	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	0	0.0%	4.9%
前年同期比	0	1	0	0	0.0%	3.7%

⑦ 採算（営業利益）

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	0	0.0%	-7.4%
前年同期比	0	1	0	0	0.0%	-12.3%

⑧ 業況

	好転	変わらない	悪化	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	0	0.0%	-28.4%
前年同期比	0	1	0	0	0.0%	-32.1%

⑨ 第３四半期（平成２９年１０月～１２月）の業界見通しについて

	好転見込み	変わらない	悪化見込み	不明	ＤＩ	全体ＤＩ
前期比	0	1	0	0	0.0%	-21.0%
前年同期比	0	1	0	0	0.0%	-19.8%

⑩ 現在の経営上の主な課題

項目	需要回復の遅れ	消費者の低価格志向	受注・販売・価格競争の激化	受注・販売単価の低下	商品、原材料仕入価格の上昇
回答数	0	0	1	0	0
構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

人手不足	人件費の高騰	設備・施設の老朽化・不足	資金の不足	事業承継
0	0	1	0	1
0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

Ⅳ　調査票

上天草市商工会　経営動向調査（景況調査等）

平成３０月１月調査　（※該当する業種に〇印を付して下さい。）

【製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業・宿泊業・運輸＆輸送業・水産業・不動産業】

本年第三四半期（２９年１０月～１２月）の貴社の業況について、ご回答下さい。
※①～⑩の質問事項の該当する項目に〇印を付して下さい。宜しくお願いします。
※「前期比」とは２９年７月～９月との比較、「前年同期比」とは２８年１０月～１２月との比較です。（⑩を除く。）

①　売上高

	増　加	変わらない	減　小	不　明
前期比（7月～9月）				
前年同期比（１０月～１２月）				

②　販売（受注）単価

	上　昇	変わらない	下　落	不　明
前期比（7月～9月）				
前年同期比（１０月～１２月）				

③　製造原価・仕入原価

	下　落	変わらない	上　昇	不　明
前期比（7月～9月）				
前年同期比（１０月～１２月）				

④　従業員

	過　剰	適　正	不　足	不　明
前期比（7月～9月）				
前年同期比（１０月～１２月）				

⑤　借入・資金繰り

	容　易	不　変	困　難	不　明
前期比（7月～9月）				
前年同期比（１０月～１２月）				

裏面へ続く⇒

⑥　在庫

	過　剰	適　正	不　足	不　明
前期比（7月～9月）				
前年同期比（１０月～１２月）				

⑦　採算（営業利益）

	好　転	変わらない	悪　化	不　明
前期比（7月～9月）				
前年同期比（１０月～１２月）				

⑧　業況（業界見通し）

	好　転	変わらない	悪　化	不　明
前期比（7月～9月）				
前年同期比（１０月～１２月）				

⑨　第三四半期（平成２９年１０月～１２月）の業況（業界見通し）

	好転見込み	変わらない	悪化見込み	不　明
前期比（7月～9月）				
前年同期比（１０月～１２月）				

⑩　現在の経営上の主な課題（いくつでも選択して下さい。）

需要回復の遅れ	消費者の低価格志向	受注・販売・価格競争の激化	受注・販売単価の低下	商品、原材料仕入価格の上昇

人手不足	人件費の高騰	設備・施設の老朽化・不足	資金の不足	事業承継

調査回答ありがとうございました。